

5. 地域における公益的な取り組みの推進

美原荘	要援護者の孤立の軽減と社会との繋がり促進を目的に、LINE公式アカウントを登録してもらい、SNSを通じた双方向のコミュニケーションの実現と平時から操作に慣れていただくことで、いざという時に活用できるように取り組んだ。
春日丘荘	高齢者の買い物支援と子ども食堂を開催するとともに、子ども達の居場所づくりとして、地域にお住いの元教師の方や学生ボランティアにも協力していただき、子どもたち及びその家族が安心して過ごしてもらえる体制を構築した。
四條畷荘	子どもの居場所づくりとして、施設を一部開放し、昼食提供の他、近隣大学生ボランティアにも協力していただき、学習支援に資する活動に取り組んだ。
光明荘	こどもたちが自分らしく自由に過ごせ学習支援を行う居場所として、「ヒミツキチふせや」を毎週1回開催した。
高槻荘	制度の狭間で潜在化する“食”の課題解決を図り、独自の配食サービスの展開に向けて、行政・市社協、近隣小学校へのニーズ調査を行い、次年度の計画につなげることができた。
白島荘	ヤングケアラーに向けた配食支援を通じて、白島荘グループや他機関と連携を強化して関わることで、ご家族の社会復帰への第一歩を踏み出す支援につなげることができた。
東大阪養護	ヤングケアラーの支援体制構築のため、当地域住民及び地域のケアマネージャーに向け、ヤングケアラーについての知識や理解を深めるための研修を実施した。
永寿園 とよなか	地域ぐるみの子育て支援をより一層深化させるため、保育園での園庭解放の定期実施や、地域交流室での子育てサロン「ももちゃん」の定期開催などに取り組んだ。
豊寿荘	子どもの居場所と高齢者の生きがいづくりを目的に、子どもランチを開催し、センターを利用されている多くの高齢者に運営に参加していただいた。
万寿荘	大阪大学の学生や地域住民の方々にも協力していただき、さつきちゃん塾を開催し学習支援に取り組んだ。その取り組みの中で、課題のある子ども達、ご家庭の支援に繋げることができた。
河南荘	訪問型サービスD事業（移動支援）に加え、地域の福祉有償運送では定期利用以外の緊急的なニーズに柔軟に対応するなど、移動支援の拡充に取り組んだ。
OSJ工房 よりその の丘	不登校児の支援を目的に、トーキョーコーヒーとの連携を行うとともに敷地をより一層活用し不登校児や近隣の保育所等との連携について検討を進めた。
みずほ おおぞら	地域の子ども達が抱える食の課題解決に向け、近隣の小学校の家庭科調理室にて朝の子ども食堂「おはよう食堂」を開催し、食を通じた、子どもの健全な育成に寄与することができた。
かがやき	高低差がある地域の高齢者の外出支援を目的に、外出支援バス「かがやき号」の運行に取り組むとともに、他法人との連携と自施設での増便についての検討も進めた。
OSJ人材 育成センター	地域包括支援センターと連携しながら、ケアスクールの学生が主体となった認知症カフェを運営した。